

社会の新たな価値を拓くデータの力

Power of Data in Creating New Social Value

巻頭言

未来を創るデータの力

Driving Future Innovation through Data



矢崎 貴久
YAZAKI Takahisa

“データの力”という言葉から、皆様はどのような力を思い浮かべるでしょうか。

「Data is the new oil」(データは新しい石油である)

これはイギリスのデータサイエンティストであるクライヴ ハンビーが生み出した表現です。21世紀における経営資源としてのデータの重要性を示す言葉として度々引用されており、皆様もお聞きになったことがあると思います。

石油は、社会インフラを動かすエネルギー源として、そして形を変えて様々な製品の原材料として利用されてきました。同様に、現在の社会において、データは様々な社会インフラを支え、人々が利用する商品・サービスの開発や提供に欠かせない重要な経営資源となっています。更に、近年のDX(デジタルトランスフォーメーション)、特にAX(AIトランスフォーメーション)の進展により、データの力は一層増しています。

データの力により、新しい発見や、予兆の検知、意思決定の高度化・効率化、新しい価値の創出などが行われており、私たちの生活はデータの力で支えられていると言っても過言ではないと思います。他方、データの流出や不正利用は、経済的な損失を生じさせるだけでなく、一瞬にして企業や個人の信頼を失墜させる力を持っています。これまでのプライバシーデータ保護に関する規制に加え、2025年9月には産業データやIoT(Internet of Things)データも対象とした欧州連合のEU Data Actが適用開始されるなど、データは企業活動を大きく左右する力を持ち始めました。

今回の特集では、データの力で新しい価値を創造する東芝の事業に加え、データ品質を支える独自技術や、リスクマネジメント・セキュリティを強化する技術など、攻めと守りの両面での取り組みをご紹介します。この特集を通じて、データが持つ“未来を創る力”を実感していただくとともに、未来を創る皆様の取り組みに私どもが少しでもお役に立てれば幸甚です。

「人と、地球の、明日のために。」

ICTソリューション事業部 データ事業推進部 ゼネラルマネジャー
Data Business Promotion Dept., ICT Solutions Div.